

村の歴史がまたひとつ 交通事故死者ゼロ2000日!



岸孝志相双地方交通対策協議会長(左)から表彰を受けた杉岡村長。今後も記録更新を目指します。

3月17日、『交通事故死者ゼロ2000日達成表彰伝達式』が、村役場で行われました。平成29年に村内で発生した死亡事故以来、令和5年3月10日で2000日を達成しました。これまで1000日を達成したことは5回ありましたが、今回の記録は飯館村の歴史の中でも初めてのことで、避難指示解除から時間の経過とともに交通量が増える中での記録更新は、村民の皆さんの交通安全の意識や、交通安全協会の方々の活動があるからです。これからも途絶えることなくこの記録をつなげていきたいですね。

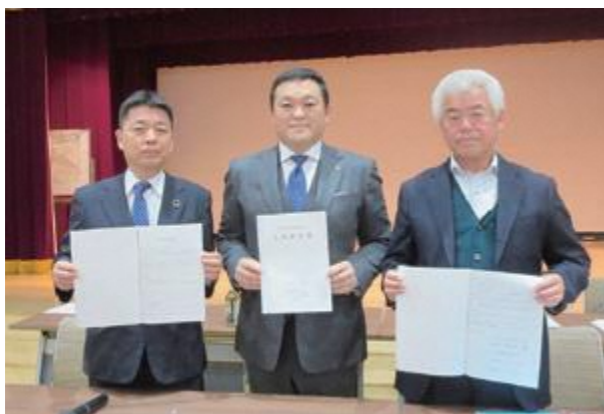
あぶくまロマンチック街道 沿線自治体の協議会が発足

阿武隈山地を縦断する国道399号の沿線では震災前から住民と自治体が連携して地域の魅力を発信してきました。この沿線5市町村(飯館、浪江、葛尾、田村、川内)が、新たに『国道399号あぶくまロマンチック街道沿線自治体連絡協議会』を設立し、3月2日に発足式を行いました。今後は、エリアの製品のブランド化、情報発信、観光誘客などを共同で推進します。初年度は、地域ブランドの認証に向けた取り組みや、製品の総合パンフレットの作成などを行う予定です。



発足式は川内村で行われました。協議会には5市町村の首長(前列)が参加。地域づくり団体とも連携します。

長泥地区の避難指示解除に向け 国・県との協議に同意



左から、イイタテバイオテック株式会社の石原健二郎取締役、杉岡村長、嶋原新一長泥行政区長

3月26日に開催された長泥行政区総会において、本年春の大型連休あたりとしていた特定復興再生拠点区域及び区域外の長泥曲田公園の避難指示解除日に関して、村が国、県と協議を行うことが、了承されました。また、同地区の区域外に誘致する資源活用型堆肥製造施設との立地協定は、同行政区が立会人となり、村と運営会社であるイイタテバイオテック株式会社との間で締結されました。同社は施設整備を進めるとともに、地域貢献等に関して協定等を結ぶことも検討しています。

菊池製作所福島工場 春の火災予防運動消防訓練

3月2日、株式会社菊池製作所福島工場で、『令和5年全国春季火災予防運動消防訓練』が行われました。昨年村内で初めて発足した企業消防隊による訓練で、防火意識の高揚と共に、同隊と消防署の連携協力体制の強化を目的としています。今回の訓練では、第3工場内で稼働中の機械から出火したという場面を想定。早期の119番通報、初期消火、従業員の避難誘導等を行いました。従業員も約100人が訓練に参加し、防火・防災に対する関心の高さが見受けられました。



企業消防隊(左と円内)が初期消火にあたり、その後出動した飯館分署消防隊(右)が消火活動に加わりました。

行政区委託の除雪を再開 地元の協力が大きな力に



昨冬は5行政区に除雪を委託しました。ご協力ありがとうございました。写真は前田行政区。

冬の村道の除雪について、村は毎年シーズン前に担当者会議を開き、体制を整えて取り組んでいます。昨冬は一次路線を2回、二次路線を2回、拡幅・吹き溜まりの除雪を2回実施しました。また昨冬は、除雪作業の一部を行政区に委託しました。震災後初の再開です。地域にお住まいの方に生活道路をいち早く除雪いただけることは、地域の安心・安全にもつながります。村は、来季以降も村民の皆さんとの協力体制を整えながら、冬期間の交通の安全確保に努めてまいります。

元気アップポイント事業 6の方が50ポイントを達成

3月16日、交流センター「ふれ愛館」で、『いいたて元気アップポイント事業表彰式』が行われました。今年度の受賞者は、一刀百さん(上飯樋)、眞柴優佳さん(飯樋町)、菅野幸子さん(関根・松塚)、鈴木みつ子さん(深谷)、佐藤勝見さん(前田)、佐藤チヨ子さん(前田)の6人です。令和4年度の1年間で、ふれ愛館では約900冊の本の貸し出しがありました。本を借りるだけでなく、生涯学習事業に参加してポイントを貯めることもできます。ぜひご家族でご参加ください。



道の駅までい館で使用できる商品券とともに、1年間で50ポイントを貯めた元気を表彰しました。